

NPO・ボランティアへの委託

群馬県

○ 取組の概要

協働による地域社会の課題解決の仕組みを定着させ、住民自治の充実を図るという観点から、県立公園のトイレ清掃や下草刈り等の維持管理を地元観光協会に委託し、地元住民が中心となって業務を実施。また、市民活動に関する情報の収集及び提供、相談及びコーディネートの事務を NPO 団体へ委託。

○ 群馬県の概要



群馬県の概要

県庁所在地

●群馬県前橋市大手町1-1-1

人口

●2,020,734人

※H17.3.31現在（住民基本台帳人口）

〇 取組について

1. 取組の背景

■ 市民活動に関する情報の収集、提供、相談及びコーディネート等の事務のNPOへの委託

平成 10 年 3 月：特定非営利活動促進法の成立を受けて、平成 10 年 3 月に県内の学識経験者・市民活動団体等を構成員とする「ボランティア・NPO ぐんま委員会」を設置。

平成 11 年 11 月：委員会の中の提言において「民間によるNPO支援の社会的体制が整うまで、行政による NPO 支援・振興拠点として「場の提供・情報の提供」の機能を持つ施設」が求められた。

平成 12 年 11 月：社会福祉総合センター内に、「ボランティア・NPO サロン」の設置
(群馬県社会福祉協議会へ委託)

平成 14 年 1 月：群馬県庁昭和庁舎 1 階に機能を移転し、名称が「NPO・ボランティアサロンぐんま」となる。(群馬 NPO 協議会へ委託)

■ 地域密着型県立公園管理推進事業

- ・ 県立公園内のトイレ清掃については、以前は業者委託していたが、予算の都合により春・秋の利用者増となる時期を中心に清掃を行っていたため、十分な管理ができていなかった。
- ・ そこで、地元住民、関係機関とトイレ清掃等について協議したところ、
 - ① 地元観光協会が清掃を受託する。
 - ② 委託費は、業者委託費と同程度とし、毎日清掃を行う。
 - ③ 地元住民が中心となり業務を行う。こととし、平成 12 年度から順次実施した。

2. 取組の具体的内容

■ 市民活動に関する情報の収集、提供、相談及びコーディネート等の事務の NPO への委託

(NPO・ボランティアサロンぐんま運営)

① 事業の趣旨

- ・ NPO やボランティアを始めとする社会貢献活動に参加意欲を持つ人に、的確に情報、参加機会の場を提供するとともに、参加意欲を持つ人と活動参加者を求めるボランティア団体等とのコーディネートを行うために、コーディネーターを配置した相談窓口を開設した。また、活動を行っている人たちの情報交換や話し合いの場、相互交流の場としての利用に供することにより、NPO・ボランティア活動の促進や活性化に資する。

②事業概要

- ・ 設置場所：昭和庁舎 1 階（NPO・ボランティアサロンぐんま）
- ・ 事業主体：群馬 NPO 協議会に委託
- ・ 体制：コーディネーター 1 名（常設）
- ・ 情報提供手段：インターネット端末（7 台）、資料コーナー（書籍・ビデオ）、掲示板、メールボックス
- ・ 場の提供：ミーティングコーナー、作業コーナー（印刷機等）

■地域密着型県立公園管理推進事業

- ・ 概要：トイレ清掃、下草刈り、空き缶拾い等を通して、地域住民が主体的に参加した県立公園の管理を行うもの（下草刈りは平成 17 年度より実施予定）。
- ・ ねらい：地域住民が参加した、地域の実情にあった県立公園の管理運営の推進。
- ・ 実施年度：平成 12 年度より継続して実施
- ・ 実施対象公園：県立赤城公園、県立榛名公園、県立妙義公園
- ・ 実施年度
赤城公園（平成 13 年度より） 榛名公園（平成 12 年度より）
妙義公園（平成 15 年度より）

3. 取組にかかる事業費

■市民活動に関する情報の収集、提供、相談及びコーディネート等の事務の NPO への委託

- ・ NPO・ボランティアサロンぐんまの運営に係る委託費：6,616 千円（平成 16 年度）
- ・ その他に、県庁各部署が取り組んでいる、NPO・ボランティアの振興に係る平成 16 年度予算における事業費は以下の通り。
 - ① NPO・ボランティアへの参加気運の醸成：9,004 千円
ねんりんピック推進や消費者サポーター、特殊植物等保全事業などの活動を実施し、社会貢献活動等に関心のある人の参加を呼びかける
 - ② NPO・ボランティアの育成：17,043 千円
各種研修、指導者養成等の事業を実施し、NPO 等を人材育成面から支援する
 - ③ NPO・ボランティアの活動支援：131,860 千円
（うち NPO・ボランティアサロンぐんま運営：6,616 千円）
NPO、ボランティア団体等を活用した事業の実施や、活動支援などを行う
 - ④ NPO・ボランティアに関する相談・情報提供の充実：6,640 千円
 - ⑤ NPO の環境・基盤整備の促進：89,431 千円
 - ⑥ NPO への委託、アウトソーシングの推進：131,981 千円

■地域密着型県立公園管理推進事業

- ・ 地域密着型県立公園管理推進事業の平成 16 年度予算における事業費（委託費）は、

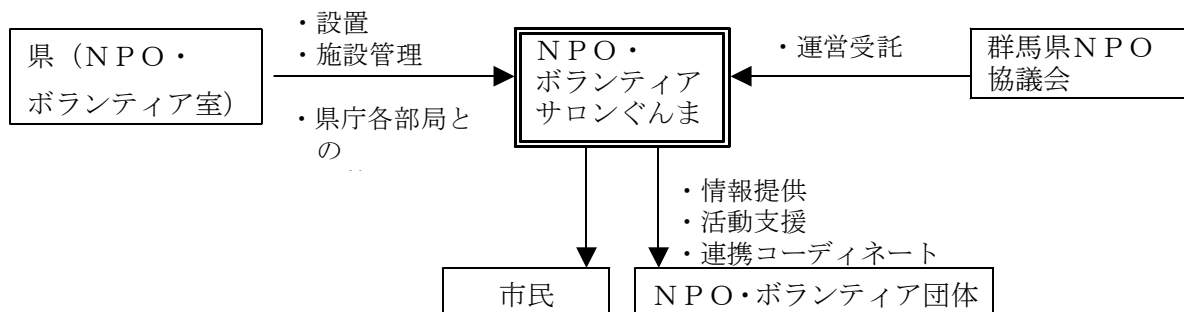
6,958 千円となっている。

4. 取組の体制

■市民活動に関する情報の収集、提供、相談及びコーディネート等の事務の NPO への委託

- ・ 県は、「NPO・ボランティアサロンぐんま」の設置及び施設管理主体として、他の団体からの問い合わせ対応、県庁各部局とサロンの調整等の役割を担っている。
- ・ 群馬県 NPO 協議会は「NPO・ボランティアサロンのぐんま」の運営主体として、県内の NPO やボランティアの支援等や活動主体間のコーディネート、また自らが中心となってイベントの開催などの機能を担っている。

図表 NPO・ボランティアサロンぐんまの運営体制



■地域密着型県立公園管理推進事業

- ・ 地域密着型県立公園管理推進事業については、自然環境課が窓口となって住民との調整を図っている。

5. 取組の成果

■市民活動に関する情報の収集、提供、相談及びコーディネート等の事務の NPO への委託

- ・ サロンの利用状況は1ヶ月平均 1,359 名となっている。
- ・ 地元の高校生等のボランティア活動の拠点にもなり、県庁の広場やホールを利用したボランティア活動の実施もされている。
- ・ 様々なボランティアイベントを実施し、ある程度のコーディネート機能を有している。
ー主なイベント：親子で水やりボランティア、ふらっとミニコンサート、県庁案内ボランティア、英語で読み聞かせ等
- ・ 県内の NPO・ボランティア団体関係者への取材等をとおした、関係団体間のネットワークの形成がされている。

■地域密着型県立公園管理推進事業

- ・ 公園管理に地域住民が積極的に参加することにより、行政では目の届かない点に対

してきめの細かい対応ができるとともに、自分たちの公園でもあるという意識が生まれる。

- ・ 限られた予算で大きな効果を上げることができる。
- ・ 地域住民による公園管理の推進により、住民の創意工夫を生かした先進的な取組事例として、公園のイメージアップにつながる。
- ・ 地域住民と行政との協働により、公園の課題解決の仕組みを定着させ、住民自治の充実を図る。

6. 今後の課題

■市民活動に関する情報の収集、提供、相談及びコーディネート等の事務のNPOへの委託

- ・ 活動支援、ネットワーク機能の強化

サロンの利用者は徐々に増加しているが、将来的に市民が主体となった組織を目指す観点から更なる機能強化を図る必要がある。

- ・ サロンの管理運営の自立化

現在、サロンの運営は県からの委託金によってほとんどが賄われているが、将来的には自立的な管理運営機能を持つような組織とすることを目指しているが、まだ具体的な方向性は定まっていない。

■地域密着型県立公園管理推進事業

- ・ 事業を定着させ、発展させることが必要である。
- ・ また、ある特定の住民の参加にとどまらず、できるだけ多くの地元住民に参加を呼びかけることが必要である。
- ・ さらに地元住民と意見交換を数多く行うことが必要である。